

# ヘルパンギーナ

発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎です。乳幼児を中心に、毎年5月ころより増加しはじめ、7月ころにかけてピークを迎えます。患者の年齢は5歳以下が全体の90%以上を占め、1歳代がもっとも多くみられます。

## ・ 潜伏期間

2～4日

## ・ 感染させるおそれのある期間

ウイルスが排出される期間

- ・呼吸器：1～2週間
- ・便中：症状が消失した後2～4週間

## ・ 感染経路

- ・飛沫感染
- ・経口(糞口)感染
- ・接触感染(水疱内容物から)

## ・ 症状

症状がある期間：発熱は、2～4日程度

- ・突然の発熱、咽頭痛
- ・咽頭には赤い発疹がみられ、次に小水疱となり、破れ、潰瘍となり痛みを伴います。

## ・ 治療法

対症療法

- ・発熱や頭痛などに対して、アセトアミノフェンなどを用いることもあります。
- ・刺激にならないよう柔らかめで薄味の食べ物をとるようにしましょう。
- ・水分不足にならないように注意しましょう。

## ・ 予防法

- ・感染者と密接な接触を避ける。
- ・うがい、手洗い(流水と石けんで十分に行う)
- ・タオルの共用はしない